

令和4年度  
学 校 評 価  
アンケート結果

評価委員アンケート

生徒アンケート

保護者アンケート

教職員アンケート

鹿児島県立川薩清修館高等学校

～令和4年度学校関係者評価集計結果～

④そう思う      ③だいたいそう思う      ②あまり思わない      ①そう思わない

項目	学校関係者評価委員
全体としての評価	3.4
学習指導に対する評価	3.4
渉外に対する評価	3.4
生徒指導に対する評価	3.4
進路指導に対する評価	3.2
特別活動に対する評価	3.2
保健指導に対する評価	3.2

学校関係者評価委員のご意見

【全体としての評価】

- 生徒個々に向き合った具体策が実践されていた。
- 課題等に対する対策、改善に取り組まれている。
- 同窓会を通しての卒業生との交流、体験等情報交換の機会もあればよいと思う。
- 各中学校との連携、出前授業の実施等、ボランティア活動も積極的に行い、信頼を得ていると思う。
- 生徒数が多くないからこそ一人一人に行き届いたしっかりした指導ができていると感じる。
- 様々な方面から学校のアピールをしている。

【学習指導面に対する評価】

- タブレットの活用の広がりに期待(学習アプリ、外部講師リモート授業等)
- ブラッシュアップタイムの実践、個別指導など具体策と成果がわかった。
- 各々の目標に向け、学校全体で取り組まれている。
- 個人差のある基礎学力の充実にむけての取り組みが必要。
- 様々な資格取得のために主体的な学習活動やICT機器を使用するなど工夫され、理解しやすい授業を行っている。
- 資格取得に力を入れている。

【広報渉外に対する評価】

- 県内の他校おこしプロジェクトに関わる事例が多いが、検討は？
- 積極的に情報発信に努められている。
- コロナの状況が落ち着けば、体育祭・文化祭・吹奏楽等の発表会等地域にも見学への参加を呼びかけてほしい。
- YouTubeによる川薩清修館チャンネルの開設など高校だよりの配布も含めて、情報発信に努めている。
- 時代に合った広報活動ができていると思う。今後も継続的に行ってほしい。
- スポーツをとおして知名度が上がってきている。

【生徒指導に対する評価】

- 日頃の生徒とのコミュニケーションが良好だろうと感じる。
- 生徒の状況把握に務められ、大きな問題等がなのは、指導の成果と思われる。
- いじめや差別のない人間関係の構築についての取り組みは今後も必要である。
- スマホ等の情報モラルに関する教育の実施とともに、生徒の発するサインを見逃さず早期発見に努め、対応されている。
- 学校訪問の際に生徒の皆さんを見る限り服装や挨拶などしっかりできている。好印象である。
- 交通指導など大きなことにならないマナー指導をしている。

【進路指導に対する評価】

- 今、社会が求める資格・技術を確実に取得できるというアピールをもっとしたらよいのではないかと。
- 上級学校への進学等も、保護者には強い説得力があるのではないかと・・・。
- 新たな取り組みなど効果的な対策をとられている。
- 社会人として自立するために、自己管理できる生徒の育成が大切。
- ICT機器の導入により、今まで以上に理解しやすい授業になっているのではないかとと思う。
- 生徒の特性を生かした情報を紹介している。(本人の希望だけでなく)
- ガイダンス・セミナーは良いと思います。

【特別活動に対する評価】

- 部活動での上位進出も、少ない部員でもよく頑張っていると思う。総合文化祭等での対外アピールに期待している。
- 一部ではあると思うが、職員間の連携・支援方法の検討。
- 部活動に参加する生徒を増やす取り組みが必要である。
- 生徒会活動や各種委員会活動を活性化し、様々な場面で生徒中心の学校作りを進めている。
- 他校への出前授業は良いと思う。

【保健指導に関する評価】

- 生徒に寄り添う指導で、不登校生が増えていないとわかった。今後もソーシャルスキル等を磨いて、更に活力のある生徒を育ててほしい。
- 難しい部分であるが、講話等も取り入れながら生徒の育成に努められている。
- 心身の健康について自己管理できる生徒の育成が大切。コミュニケーションの充実等も大切。
- ソーシャルスキルトレーニング講話の実施とともに関係職員の連携を図りながら指導・支援を行っている。
- 昨今重要視されているソーシャルスキルトレーニングの実施回数を可能な限り増やすなどの取り組みができると尚良いと思う。
- 個人に対して手厚いと思う。

【その他】

- それぞれの先生方が、自分の職責を果たし生徒の現状に合った指導や対策を工夫されていると感じた。教員の自己評価が下がったのは、到達したいレベル目標が上がったからだと思う。中学校が何をすべきか、改めて考えさせられた。
- 取り組みが多いほど課題は出てきます。一つずつでもクリアしていただければと思う。
- コロナ禍、なかなか学校を訪問する機会も少なくどのように評価すればよいのか迷いましたが、生徒・保護者・職員の皆様のアンケートを見る限りきめ細やかな指導の中、生徒さんに寄り添いながらよりよく努力されておられる事を痛感しました。

## 学校評価アンケート(生徒)

※ 太線囲みは昨年度より評価が高かった部分

	No.	アンケート内容	回答者数	そう思う	だいたいそう思う	あまり思わない	そう思わない	平均	昨年
全体	1	学校は、学科の特徴を生かし、生徒一人一人の個性を伸ばしている。	162	24.1%	69.1%	6.8%	0.0%	3.2	3.1
	2	学校は、基礎学力の充実に努め、進路目標を実現させている。	162	32.1%	63.0%	4.9%	0.0%	3.3	3.2
	3	学校は、体験活動の充実に努め、豊かな人間性や社会性を培う教育活動を展開している。	162	29.6%	63.6%	6.2%	0.6%	3.2	3.0
	4	学校は、地域の学校として、地域活動やボランティア活動等に積極的に協力し、信頼を得ている。	162	24.7%	61.1%	13.0%	1.2%	3.1	2.9
学習	5	学校は、様々な資格を取得するための体制を整えている。	162	48.8%	47.5%	3.7%	0.0%	3.5	3.4
	6	学校は、必要に応じて主体的な学習活動やICT機器を使用するなど、工夫があり理解しやすい授業を行っている。	162	22.8%	65.4%	10.5%	1.2%	3.1	2.9
生徒指導	7	学校は、スマートフォン等の適切な使い方と情報モラルについて啓発・指導を行っている。	161	37.3%	55.9%	5.6%	1.2%	3.3	3.2
	8	学校は、生徒に声かけを行い、何か問題が発生したときには早期に対応している。	161	30.4%	52.2%	14.9%	2.5%	3.1	3.1
	9	学校は、いじめや差別のない人間関係を構築し、自他の生命を尊重する指導を行っている。	162	32.7%	54.3%	10.5%	2.5%	3.2	3.1
	10	学校は、交通ルールの遵守と交通マナーについて適切な指導を行っている。	162	57.4%	39.5%	3.1%	0.0%	3.5	3.4
進路指導	11	学校は、進路に関する情報を提供している。	162	46.9%	50.6%	2.5%	0.0%	3.4	3.4
	12	学校は、進路に関するガイダンスやセミナー等を行い、適切な指導を行っている。	162	48.1%	47.5%	3.7%	0.6%	3.4	3.4
	13	学校は、進路実現のために、個別指導や放課後指導を行っている。	162	42.6%	52.5%	4.9%	0.0%	3.4	3.3
特別活動	14	学校は、生徒会活動・学級活動を通じて、諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度を育成している。	162	29.6%	64.2%	5.6%	0.6%	3.2	3.1
	15	学校は、部活動を通して健康で豊かな心身を育成する指導を行っている。	162	38.9%	58.0%	3.1%	0.0%	3.4	3.3
	16	学校は、学習と部活動の両立のための支援をしている。	162	35.8%	54.9%	8.0%	1.2%	3.3	3.2
保健指導	17	学校は、薬物乱用防止やたばこの害、性に関する指導を適切に行っている。	162	46.3%	49.4%	4.3%	0.0%	3.4	3.3
	18	学校は、健康で安全な学習環境を整備している。	162	40.1%	56.8%	3.1%	0.0%	3.4	3.3
	19	学校は、新型コロナウイルス感染症に対して、状況に応じた指導を行っている。	162	44.4%	50.6%	4.3%	0.6%	3.4	3.4
他	20	私は、本校に入学して良かった。	162	43.8%	51.2%	4.3%	0.6%	3.4	3.3

学校評価アンケート(保護者)

※ 網掛け部分は昨年度より評価が低かった項目

	No	アンケート内容	そう思う	だいたいそう思う	あまり思わない	そう思わない	回答数	そう思う	だいたいそう思う	あまり思わない	そう思わない	平均	昨年
全体	1	学校は、学科の特徴を生かし、生徒一人一人の個性を伸ばしている。	44	107	13	1	165	26.7%	64.8%	7.9%	0.6%	3.1	3.0
	2	学校は、基礎学力の充実に努め、進路目標を実現させている。	51	101	13	0	165	30.9%	61.2%	7.9%	0.0%	3.1	3.1
	3	学校は、体験活動の充実に努め、豊かな人間性や社会性を培う教育活動を展開している。	53	98	15	0	166	31.9%	59.0%	9.0%	0.0%	3.1	2.9
	4	学校は、地域の学校として地域活動やボランティア活動等に積極的に協力し、信頼を得ている。	40	94	32	0	166	24.1%	56.6%	19.3%	0.0%	3.0	2.7
学習	5	学校は、様々な資格を取得するための体制を整えている。	58	95	12	1	166	34.9%	57.2%	7.2%	0.6%	3.2	3.2
	6	学校は、学力向上に向けて、授業方法の工夫・改善を講じている。	36	111	18	1	166	21.7%	66.9%	10.8%	0.6%	3.0	2.9
渉外	7	学校は、魅力ある学校づくりを目指して、活動をPRLし、情報発信をしている。	58	83	23	2	166	34.9%	50.0%	13.9%	1.2%	3.1	2.8
	8	学校とPTA会員の協力を軸として、組織的なPTA運営が行われている。	40	107	17	2	166	24.1%	64.5%	10.2%	1.2%	3.0	2.8
生徒指導	9	学校は、家庭・地域・関連機関と連携のとれた指導を行っている。	38	101	23	4	166	22.9%	60.8%	13.9%	2.4%	3.0	2.8
	10	学校は、スマートフォン等の適切な使い方と情報モラルについて啓発・指導を行っている。	53	99	11	3	166	31.9%	59.6%	6.6%	1.8%	3.1	3.1
	11	学校は、生徒の発するサインを見逃さず、早期発見・早期対応をしている。	29	105	23	9	166	17.5%	63.3%	13.9%	5.4%	2.8	2.7
	12	学校は、いじめや差別のない人間関係を構築し、自他の生命を尊重する態度を育てている。	31	106	19	10	166	18.7%	63.9%	11.4%	6.0%	2.9	2.7
	13	学校は、交通ルールの遵守と交通マナーについて適切な指導を行っている。	51	99	13	3	166	30.7%	59.6%	7.8%	1.8%	3.1	3.0
進路指導	14	学校は、生徒・保護者に対して進路に関する情報を提供している。	57	88	17	4	166	34.3%	53.0%	10.2%	2.4%	3.1	3.1
	15	学校は、進路に関するガイダンスやセミナー等を行い、適切な指導を行っている。	42	102	20	2	166	25.3%	61.4%	12.0%	1.2%	3.0	3.0
	16	学校は、進路実現のために、個別指導や放課後指導を行っている。	45	98	20	3	166	27.1%	59.0%	12.0%	1.8%	3.0	3.0
特別活動	17	学校は、よい学校生活づくりに参画する意識を高め、諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度を育成している。	31	112	20	3	166	18.7%	67.5%	12.0%	1.8%	2.9	2.9
	18	学校は、部活動を通して健康で豊かな心身を育成する指導を行っている。	53	94	16	3	166	31.9%	56.6%	9.6%	1.8%	3.1	3.1
	19	学校は、学習と部活動の両立のための支援をしている。	51	88	24	3	166	30.7%	53.0%	14.5%	1.8%	3.0	3.0
保健指導	20	学校は、薬物乱用防止やたばこの害、性に関する指導を適切に行っている。	53	96	15	2	166	31.9%	57.8%	9.0%	1.2%	3.1	3.1
	21	学校は、健康で安全な学習環境を整備している。	53	102	9	2	166	31.9%	61.4%	5.4%	1.2%	3.1	3.1
	22	学校は、健康管理について家庭と連携を図り取り組んでいる。	48	92	22	4	166	28.9%	55.4%	13.3%	2.4%	3.0	3.1
	23	学校は、新型コロナウイルス感染症に対して、状況に応じた指導を行っている。	69	83	9	5	166	41.6%	50.0%	5.4%	3.0%	3.2	3.3
他	24	子どもを本校に入学させて良かった。	101	47	17	1	166	60.8%	28.3%	10.2%	0.6%	3.4	3.3

学校評価アンケート（教職員）

	No	アンケート内容	回答数	そう思う	だいたい そう思う	あまり思 わない	そう思わ ない	平均	昨年	
A 学校の組織・経営全般に関	1	各学科の特徴を生かし、生徒一人一人の個性を伸ばしている。	31	12.9%	80.6%	6.5%	0.0%	3.1	3.2	
	2	基礎学力の充実に努め、進路目標を実現させている。	31	22.6%	67.7%	9.7%	0.0%	3.1	3.1	
	3	体験活動の充実に努め、豊かな人間性や社会性を培う教育活動が展開されている。	31	19.4%	61.3%	19.4%	0.0%	3.0	2.9	
	4	地域の学校として地域活動やボランティア活動等に積極的に参加し、信頼を得ている。	31	16.1%	51.6%	32.3%	0.0%	2.8	2.8	
	5	校務分掌が適切に組織され、有効に機能している。	31	12.9%	67.7%	19.4%	0.0%	2.9	2.7	
	6	教職員が相互に信頼・理解しあい、協調体制がとられている。	31	12.9%	51.6%	29.0%	6.5%	2.7	2.7	
	7	不祥事防止に向けて、研修や啓発に努めている。	31	45.2%	51.6%	3.2%	0.0%	3.4	3.5	
	8	業務改善に対して組織の改編や業務の見直しをしている。	31	25.8%	58.1%	16.1%	0.0%	3.1	2.9	
B 学校運営に関する評価	教務・教科	9	新学習指導要領についての理解・対策が図られている。	31	12.9%	61.3%	25.8%	0.0%	2.9	3.2
		10	様々な資格を取得するための体制が整っている。	31	25.8%	51.6%	22.6%	0.0%	3.0	3.2
		11	教科会等において学力分析を行い、授業法の工夫・改善が講じられている。	31	16.1%	61.3%	22.6%	0.0%	2.9	3.1
		12	魅力ある学校づくりを目指して、活動をPRし、情報発信がなされている。	31	38.7%	58.1%	3.2%	0.0%	3.4	3.3
		13	PTA会員との協力を軸として、組織的なPTA運営が行われている。	31	19.4%	51.6%	29.0%	0.0%	2.9	2.8
	生徒指導	14	家庭・地域・関連機関と連携のとれた指導が行われている。	31	16.1%	61.3%	22.6%	0.0%	2.9	2.9
		15	スマートフォン等の適切な使い方と情報モラルについて啓発・指導が行われている。	31	32.3%	54.8%	12.9%	0.0%	3.2	3.0
		16	生徒の発するサインを見逃さず、早期発見に努め、関係職員と情報共有しながら早期対応がされている。	31	29.0%	61.3%	9.7%	0.0%	3.2	3.2
		17	いじめや差別のない人間関係を構築し、自他の生命を尊重する態度を育てている。	31	35.5%	58.1%	6.5%	0.0%	3.3	3.2
		18	交通ルールの遵守と交通マナーについて適切な指導が行われている。	31	22.6%	64.5%	12.9%	0.0%	3.1	3.1
	進路指導	19	生徒・保護者に対して進路に関する情報が提供されている。	31	29.0%	67.7%	3.2%	0.0%	3.3	3.2
		20	進路に関するガイダンスやセミナー等を行い、適切な指導が行われている。	31	41.9%	54.8%	3.2%	0.0%	3.4	3.4
		21	生徒の進路実現のために、個別指導や放課後指導がなされている。	31	41.9%	48.4%	9.7%	0.0%	3.3	3.4
	学特別活動	22	よい学校生活づくりに参画する意識を高め、諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度が育成されている。	31	19.4%	54.8%	25.8%	0.0%	2.9	2.8
		23	部活動を通して健康で豊かな心身を育成する指導がなされている。	31	22.6%	54.8%	22.6%	0.0%	3.0	3.1
		24	学習と部活動の両立を図れるように職員間の連携や支援が行われている。	31	16.1%	48.4%	35.5%	0.0%	2.8	3.0
	保健安全	25	薬物乱用防止やたばこの害、性に関する指導は適切に行われている。	31	38.7%	54.8%	6.5%	0.0%	3.3	3.4
		26	学校内の施設設備は整備されており、健康で安全な学習環境が整備されている。	31	29.0%	48.4%	22.6%	0.0%	3.1	3.2
		27	生徒の健康管理について、家庭と連携を図り取り組まれている。	31	32.3%	64.5%	3.2%	0.0%	3.3	3.4
		28	新型コロナウイルス感染症に対して、感染予防の適切な指導が行われている。	31	38.7%	61.3%	0.0%	0.0%	3.4	3.5
	C 個人の教育活動に関する評価	全	29	生徒との触れ合いを大切に共感的な理解に努め、生徒との信頼関係を構築している。	31	19.4%	77.4%	3.2%	0.0%	3.2
30			サービス内容を理解し、サービス規律を遵守し、社会から信頼される行動をしている。	31	48.4%	51.6%	0.0%	0.0%	3.5	3.6
31			校務分掌を適切に処理し、工夫改善を図っている。	31	29.0%	61.3%	9.7%	0.0%	3.2	3.4
教科指導		32	生徒個々に応じた指導・助言を適切に行っている。	31	25.8%	74.2%	0.0%	0.0%	3.3	3.4
		33	予習・復習・課題等の点検を常に行っている。	31	16.1%	74.2%	9.7%	0.0%	3.1	3.1
		34	生徒の主体的な学習法やICT機器を活用した授業への対応など授業法の工夫・改善に取り組んでいる。	31	16.1%	64.5%	19.4%	0.0%	3.0	3.1
生活指導		35	あいさつやマナー、基本的な生活習慣の確立に向けた指導を行っている。	31	38.7%	51.6%	9.7%	0.0%	3.3	3.3
		36	校則や社会のルールを守らせる指導を行っている。	31	35.5%	61.3%	3.2%	0.0%	3.3	3.4
		37	いじめ防止基本方針に基づき「いじめは絶対に許さない」という姿勢で生徒の指導している。	31	51.6%	48.4%	0.0%	0.0%	3.5	3.6
保健		38	清掃活動や放課後の教室点検等を通じて、生徒の学びにふさわしい環境整備に努めている。	31	29.0%	71.0%	0.0%	0.0%	3.3	3.4
		39	新型コロナウイルス感染症予防の指導に対し、適切な指導を適時行っている。	31	48.4%	51.6%	0.0%	0.0%	3.5	3.6
他		40	各種研修に積極的に取り組んでいる。	31	29.0%	58.1%	12.9%	0.0%	3.2	3.1
		41	PTA、地域等の活動に積極的に協力している。	31	19.4%	51.6%	29.0%	0.0%	2.9	2.9

## 川薩清修館高等学校 アンケート総括(生徒・保護者)

④そう思う ③だいたいそう思う ②あまり思わない ①そう思わない

No.	アンケート内容	今年度の取組	生徒 評価	保護者 評価	評価の分析と改善方策
全体	1 学校は、学科の特徴を生かし、生徒一人一人の個性を伸ばしている。	【総合学科】総合学科PRの一環として、ビジネス会計科と合同で学校案内リーフレットを作成した。また、系列選択についての情報共有等は計画通り行っている。 【ビジネス会計科】資格取得への取組だけでなく、生徒商業研究発表大会への参加、出前授業の実施、専門高校フェスタでのそらぼん指導に取り組んだ。	3.2	3.1	【総合学科】概ね問題ないと考えている。系列選択について、個別の相談にも対応していただいた。 【ビジネス会計科】高い評価をいただいている。引き続き、生徒の個性を伸ばすための方策について検討していきたい。
	2 学校は、基礎学力の充実にも努め、進路目標を実現させている。	【進路指導部】1・2学年はマナトレを導入し、基本中の基本を学び直す取組や3学年では個人の進路に合わせた取組を行った。	3.3	3.1	保護者90%、生徒95%が肯定的な回答であった。マナトレを導入したことで昨年度より評価は上がったと思われる。しかし取組には個人差があることも事実であり、今後も継続していく。
	3 学校は、体験活動の充実にも努め、豊かな人間性や社会性を培う教育活動を展開している。	【教務部】年度計画の学校行事について、感染症対策の必要から計画変更を余儀なくされながらも、目的を造ることなく予定していた行事を実施することができた。	3.2	3.1	学校行事を中止することなく実施できたことが評価ポイントの上昇につながったのではないだろうか。
	4 学校は、地域の学校として地域活動やボランティア活動等に積極的に協力し、信頼を得ている。	【生徒指導部】生徒会の奉仕委員会によるペットボトルキャップ収集を実施しており好評である。校外のボランティア活動はその都度生徒へ募集して希望者が参加している。	3.1	3.0	奉仕委員会のペットボトルキャップ収集は毎年順調で好成績である。校外の各種ボランティア活動にも積極的に参加しているが、参加人数を増やすための工夫が必要である。
学習	5 学校は、様々な資格を取得するための体制を整えている。	【総合学科】系列ごとの授業を計画通り進めている。 【ビジネス会計科】授業や放課後で検定対策をしている。	3.5	3.2	【総合学科】生徒一人ひとりの状況を把握し、対応している。 【ビジネス会計科】高い評価をいただいている。一人でも多くの生徒が合格できるよう指導していく。
	6 学校は、必要に応じて主体的な学習活動やICT機器を使用するなど、工夫があり理解しやすい授業を行っている。(生徒) 学校は、学力向上に向けて、授業方法の工夫・改善を講じている。(保護者)	【教務部】公開授業等を通して、ICTを活用した授業工夫モードが学校全体に広がってきた。	3.1	3.0	公開授業等での先生方の取り組みの変化を生徒や保護者が敏感に感じ取ったのではないだろうか。
涉外	7 学校は、魅力ある学校づくりを目指して、活動をPRし、情報発信をしている。	【教務部】一日体験入学の実施、休日の学校説明会、学校だより(2か月に1回)の発行、ブログの更新、出前授業への取組、新聞折込チラシのせんだい学校だより、学校PRのプロジェクトチームによるYouTubeやInstagram等で情報発信を行っている。		3.1	昨年より、0.3ポイント上がっている。YouTubeの川薩清修館チャンネルの影響があると考えられる。引き続き、情報発信に努めたい。
	8 学校とPTA会員の協力を軸として、組織的なPTA運営が行われている。	【教務部】PTA会員との協力を軸として、組織的なPTA運営を行っている。		3.0	今年度活動全般について大幅な見直しを行い、保護者・職員にとって負担感のない活動計画の指針を作ることができた。
生徒指導	9 学校は、家庭・地域・関連機関と連携のとれた指導を行っている。	【生徒指導部】地域・関係機関との連携は係を中心にとれている。家庭との連携は担任・学年主任が中心となり個別に対応している。		3.0	昨年より若干評価が上がっている。提供した情報等が保護者等に届いているのではないかと。これからも積極的に情報を発信し家庭・地域・関係機関との連携を深めたい。
	10 学校は、スマートフォン等の適切な使い方と情報モラルについて啓発・指導を行っている。	【生徒指導部】スマホ等の持込の規定を周知・指導している。情報モラル教育講演会の実施、SNS等相談窓口案内、授業を通しての情報モラル獲得の指導を行っている。	3.3	3.1	昨年より生徒評価が上がっている。PTAなどで積極的にSNS等の被害や相談窓口等の案内、情報モラルについて等の情報を提供したことが評価の向上につながったのではないかと。今後も継続していく。
	11 学校は、生徒の発するサインを見逃さず、早期発見・早期対応をしている。	【生徒指導部】学校生活アンケートを年3回、学校楽しい一とを年3回実施し、生徒の状況の把握に努めている。気になる生徒の個別面談を実施している。	3.1	2.8	アンケートの結果に気になる回答が数件あったが、その都度対応しており大きな問題にはなっていない。アンケート後の個別面談を積極的に行い早期発見・早期対応に努める。
	12 学校は、いじめや差別のない人間関係を構築し、自他の生命を尊重する態度を育てている。	【生徒指導部】「いじめ問題を考える週間」や「いじめ問題の統一LHR」を計画・実施し、いじめや差別のない学校を目指した取り組みを行なっている。	3.2	2.9	教育相談係、人権同和教育係と連携し、今後も生徒の自己肯定感を高める取り組みやいじめや差別のない学校作りを継続する。
	13 学校は、交通ルールの遵守と交通マナーについて適切な指導を行っている。	【生徒指導部】交通安全指導や原付の運転マナーについて機会を捉えて指導を行っている。原付実技講習会を入学ドライブングスクールで実施している。	3.5	3.1	機会を捉えて交通安全指導を行っている。生徒の安心・安全を第一に考えて指導を続けていく。
進路指導	14 学校は、生徒・保護者に対して進路に関する情報を提供している。	三者面談資料やPTA総会、進路便りなどで進路情報を提供した。	3.4	3.1	保護者の肯定的評価(平均87.3%)、生徒の肯定的評価(平均97.5%)と両者に10%の開きがある。学校内における情報提供はこれまで通り継続していくが、保護者向けの情報発信としてデジタルコンテンツの活用を考えていく。
	15 学校は、進路に関するガイダンスやセミナー等を行い、適切な指導を行っている。	3学年向け模擬面接会や学年向けのガイダンスを実施した。	3.4	3.0	生徒は実際にガイダンスに参加するため高評価が多い。保護者向けに面接会の様子やガイダンスの様子をYoutubeに投稿したが周知ができていなかった。情報発信と同様に取り組んでいく。
	16 学校は、進路実現のために、個別指導や放課後指導を行っている。	これまでの面接指導や進路希望に応じた個人指導を行った。新規に企業の方の講話を実施し、なぜ働くのかについて意識の向上を図った。	3.4	3.0	概ね評価は高いが、生徒自身が思う進路と保護者の意見の食い違い、また、それぞれの進路実現方法において、取組への温度差、学力や学校生活状況などで難しい事例もある。「やれることはしっかりやる」がキーワード。
特別活動	17 学校は、【生徒会活動・学級活動を通じて(生徒)】【よい学校生活づくり】に参画する意識を高め(保護者)、諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度を育成している。	【生徒指導部】生徒会活動や各種委員会活動を活性化し、様々な場面で生徒中心の学校作りを進めている。	3.2	2.9	生徒会役員・各種委員会の自発的活動のさらなる活性化に向けて職員による手立てとフォローを継続していく。
	18 学校は、部活動を通して健康で豊かな心身を育成する指導を行っている。	【生徒指導部】高校部活動活動方針の周知・徹底、部活動の月別練習計画の整備、新型コロナウイルス感染症対策の徹底による大会出場などを実施した。	3.4	3.1	部活動には概ね高い評価をいただいている。部活動に参加する生徒を増やすことに注力する。
	19 学校は、学習と部活動の両立のための支援をしている。	【教務部】 【生徒指導部】部顧問と連携しながら定期考査前後の課題提出の徹底や学習時間の確保に努めている。	3.3	3.0	高い評価をいただいている。入部希望者が減少傾向にあるが、生徒を支援する体制の構築に努めたい。
保健指導	20 学校は、薬物乱用防止やたばこの害、性に関する指導を適切に行っている。	【保健部】6月に薬物乱用防止教室(6/24)、7月に性に関する講座(7/11)を実施。関連する内容は「保健」授業の単元・項目で指導。性に関する指導は「第2回ソーシャルスキルトレーニング講話」の中にも取り入れて実施(11/7)。	3.4	3.1	生徒評価0.1増。今後も生徒の状況に応じた講話内容・実施形態・実施時期を検討する。
	21 学校は、健康で安全な学習環境を整備している。	【保健部】月1回の安全点検日に全職員で施設設備の点検を実施。緊急性があるものは事務室へ連絡・対応。	3.4	3.1	生徒評価0.1増。今後も定期安全点検の実施を中心とし、事務部との連携に努める。大掃除時に重点箇所を提示し、環境美化に努める。
	22 学校は、健康管理について家庭と連携を図り取り組んでいる。	【保健部】各学級担任、各部顧問、養護教諭など関係職員と連携をはかる。「ほげんだより」を毎月発行。		3.0	保護者評価0.1減。今後も関係職員と連携を図り、情報共有をしながら家庭との連携を密にする。生徒に寄り添った指導・支援に心がける。
	23 学校は、新型コロナウイルス感染症に対して、状況に応じた指導を行っている。	【保健部】各学級、各学年、全学年での指導。教室掲示などをでしつづつ、定期的な保健講話の実施。	3.4	3.2	保護者評価0.1減。感染症対策の重要性を再確認し、指導の充実を図る。
他	24 本校に入学して(させて)良かった。	学級の垣根を越えて全学年職員で生徒を見守り、声かけを行うように努めた。(1年) 学校行事のインターネットアップや修学旅行が終了した。(2年) 一人ひとりの進路実現に向け、進路相談や個別指導に努めた。(3年)	3.4	3.4	高い評価をいただいていると思われる。多様な生徒がいる現状を踏まえて、きめ細やかで柔軟な個別指導に努めたい。(1年) コロナ禍の中、学校行事が無事終了した。次年度の進路実現に向け取組(2年) 進路に関する現状分析と判断材料の提示。自ら考え、行動できる面談の充実。(3年)

R4年度川薩清修館高等学校 アンケート総括(職員)

④そう思う ③だいたいそう思う ②あまり思わない ①そう思わない

	No.	アンケート内容	今年度の取組	職員評価	評価の分析と改善方策
A 【学校の組織・経営全般に関する評価】	1	各学科の特徴を生かし、生徒一人一人の個性を伸ばしている。	【総合学科】総合学科PRの一環として、ビジネス会計科と合同で学校案内リーフレットを作成した。また、系列選択についての情報共有等は計画通り行っている。 【ビジネス会計科】資格取得への取組だけでなく、生徒商業研究発表大会への参加、出前授業の実施、専門高校フェスタでのそらぼん指導に取り組んだ。	3.1	【総合学科】総合学科を知ってもらい取り組みがあまりできていない。 【ビジネス会計科】次年度も地域貢献として、出前授業に取り組みたい。
	2	基礎学力の充実に努め、進路目標を実現させている。	【進路指導部】1・2学年はマトレを導入し、基本中の基本を学び直す取組や3学年では個人の進路に合わせた取組を行った。	3.1	平均は昨年度と同じで、数値は92.1%とある程度の評価はされていると思う。しかし、7.9%がそうは感じていないことから、生徒のために効果的な取組を教示していただけたとありがたい。
	3	体験活動の充実に努め、豊かな人間性や社会性を培う教育活動が展開されている。	【教務部】年度計画の学校行事について、感染症対策の必要から計画変更を余儀なくされながらも、目的を逃すことなく予定していた行事を実施することができた。	3.0	学校行事を中止することなく実施できたことが評価ポイントの上昇につながったのではないだろうか。
	4	地域の学校として地域活動やボランティア活動等に積極的に参加し、信頼を得ている。	【生徒指導部】奉仕委員会によるペットボトルキャップ収集の実施。各種校外ボランティア活動への参加の呼びかけを行っている。	2.8	昨年と同じ数値である。ボランティア活動には積極的に参加している。参加人数が多いとは言えないので募集方法の工夫が必要である。
	5	校務分掌が適切に組織され、有効に機能している。	【教頭】可能な限り公平・公正となるような配置に努めた。	2.9	「そう思う」「だいたいそう思う」が80%以上であることから概ね適正配置がなされているものと考えられるが、フレームを超え有機的な繋がりを持ちつつ業務の推進が出来るよう配置を工夫していきたい。
	6	教職員が相互に信頼・理解しあい、協働体制がとられている。	【教頭】「情報共有」や「風通し」をキーワードに組織作りについてアナウンス	2.7	十分に満足できる評価とは言えないことから、業務の効率化を推進し、余白を生み出した上で情報共有を充実させ、各自が強みを活かし、弱みを補完し合いながら業務に取り組むことができる体制づくりを進める。
	7	不祥事防止に向けて、研修や啓発に努めている。	【教頭】今月の努力目標、各種週間を活用した啓発、新聞記事等による啓発、外部講師によるコンプライアンスの研修を実施	3.4	職員が自分事として振り返るきっかけづくりをタイムリーに、且つ粘り強く継続する。
	8	業務改善に対して組織の改編や業務の見直しをしている。	【教頭】毎月の勤務時間外の在校等時間フィードバックの際に業務改善に係る情報を提供	3.1	在学等時間の数値から考えると業務改善は進んでいると考えられるが、今後も更なる業務の効率化、合理化を推進していく。
B 【学校運営に関する評価】	9	新学習指導要領についての理解・対策が図られている。	【教務部】新学習指導要領についての理解・対策が図られている	2.9	年度当初に申し合わせ事項を作成し、新学習指導要領の対策としたが、評価の仕方についてこの1年でいくつかの課題が見つかった。この課題について新年度最初の時期に共通理解を図り各教科で対策を講じる必要がある。
	10	様々な資格を取得するための体制が整っている。	【総合学科】系列ごとの授業を計画通り進めている。 【ビジネス会計科】授業や放課後で検定対策をしている。	3.0	【総合学科】1学年で選択授業がなくなったが、影響はないと考える。 【ビジネス会計科】バスの便数の影響で、放課後指導について検討していく。
	11	教科会等において学力分析を行い、授業法の工夫・改善が講じられている。	【教務部】公開授業等を通して、ICTを活用した授業工夫モードが学校全体に広がってきたが、学力分析等の検討までは至らなかった。	2.9	ICT活用や主体的取り組みへの検証をPDCAサイクルに乗せながら実践させる必要がある。
	12	魅力ある学校づくりを目指して、活動をPRし、情報発信がなされている。	【教務部】一日体験入学の実施、休日の学校説明会、学校たより(2か月に1回)の発行、ブログの更新、出前授業への取組、新聞折込チラシのせんだい学校だより、学校PRのプロジェクトチームによるYouTubeやInstagram等で情報発信を行っている。	3.4	高い評価をいただいている。YouTubeによる川薩清修館チャンネルの開設の影響が大きいのではないかと引き続き、情報発信に努めたい。
	13	PTA会員との協力を軸として、組織的なPTA運営が行われている。	【教務部】PTA会員との協力を軸として、組織的なPTA運営が行われている	2.9	コロナ禍でこれまでどおりのPTA活動が困難になり、今年度活動全般について大幅な見直しを行い、保護者・職員にとって負担感のない活動計画の指針を作ることができた。
	14	家庭・地域・関連機関と連携のとれた指導が行われている。	【生徒指導部】地域・関連機関との連携は係を中心にとれている。家庭との連携は担任・学年主任が中心となり個別に対応している。	2.9	昨年と同じ評価である。積極的な生徒指導という観点から今後更に家庭・地域・関連機関との連携に努める。
	15	スマートフォン等の適切な使い方と情報モラルについて啓発・指導が行われている。	【生徒指導部】情報モラル教育講演会の実施、SNS等相談窓口の案内、授業を通して情報モラルの獲得を目指し啓発・指導を行っている。	3.2	情報モラルの獲得はこれからのデジタル社会を生きる生徒達に必要なスキルである。講演会等を実施し、積極的に情報発信を行う。
	16	生徒の発するサインを見逃さず、早期発見に努め、関係職員と情報共有しながら早期対応がされている。	【生徒指導部】学校生活アンケートを年3回、学校楽しいーとを年3回実施し、生徒の状況把握に努めている。気になる生徒の個別面談も実施している。	3.2	些細な兆候を見逃すことなく対応できるようにアンケートを実施。実施後の面談、面談内容の情報共有を速やかに行う。
	17	いじめや差別のない人間関係を構築し、自他の生命を尊重する態度を育てている。	【生徒指導部】「いじめ問題を考える週間」や「いじめ問題の統一LHR」を計画・実施し、いじめや差別のない学校作りを目指した取り組みを行なっている。	3.3	教育相談係、人権同和教育係と連携し、今後も生徒の自己肯定感を高める取り組みやいじめや差別のない学校作りを継続する。
	18	交通ルールの遵守と交通マナーについて適切な指導が行われている。	【生徒指導部】交通安全指導や原付の運転マナーについて機会を捉えて指導を行っている。原付実技講習会を入来ドライビングスクールで実施している。	3.1	「そう思う」「だいたいそう思う」が90%近くである。機会を捉えて交通安全指導を行い、生徒の安心・安全を第一に考えて指導を続けていく。
	19	生徒・保護者に対して進路に関する情報が提供されている。	三者面談資料やPTA総会、進路便りなどで進路情報を提供した。	3.3	96.7%が肯定的であるため学校内における情報提供はこれまで通り継続していく。更にこんな情報がほしいという要望に答えられるよう努力する。
20	進路に関するガイダンスやセミナー等を行い、適切な指導が行われている。	3学年向け模擬面接会や学年向けのガイダンスを実施した。	3.4	保護者と同様、ガイダンスに参加できない先生方もいるため、ガイダンスや面接の様子をYouTubeに投稿したが周知ができていなかった。効果的な取組やアイデアを募集します。	
21	生徒の進路実現のために、個別指導や放課後指導がなされている。	これまでの面接指導や進路希望に応じた個人指導を行った。新規に企業の方の講話を実施し、働くことについて意識の向上を図った。	3.3	それぞれの進路実現方法において、取組への温度差、学力や学校生活状況などで難しい事例もあり、評価が下がったと思われる。「やれることはしっかりやる」が改善策。	

R4年度川薩清修館高等学校 アンケート総括(職員)

④そう思う ③だいたいそう思う ②あまり思わない ①そう思わない

	No.	アンケート内容	今年度の取組	職員評価	評価の分析と改善方策	
特別活動・学級活動	22	よい学校生活づくりに参画する意識を高め、諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度が育成されている。	【生徒指導部】生活委員会による頭髮服装指導の事前指導を実施。生徒総会で要望事項が多数出るなど諸問題の改善へ向けて自主的な態度が見えつつある。	2.9	職員の積極的な働きかけで生徒会活動の活性化を進める。組織を見直し積極的な取り組みのサポートを行う。	
	23	部活動を通して健康で豊かな心身を育成する指導がなされている。	【生徒指導部】高校部活動活動方針の周知・徹底、部活動の月別練習計画の整備、新型コロナウイルス感染症対策の徹底による大会出場などを実施した。	3.0	昨年より評価が下がっている。「あまり思わない」の割合が増えている原因を把握し、改善策を考えたい。	
	24	学習と部活動の両立を図れるように職員間の連携や支援が行われている。	【教務部】 【生指部】部顧問と連携しながら定期考査前後の課題提出の徹底や学習時間の確保に努めている。	2.8	数値が大きく下がっている。部活動と学習の両立ができていない生徒が増えているのか。部顧問と教科担任の連携を図る。	
	保健安全	25	薬物乱用防止やたばこの害、性に関する指導は適切に行われている。	【保健部】1学期に薬物乱用防止教室(6/24)と性に関する講座(7/11)を実施。性に関する指導は「第2回 ソーシャルスキルトレーニング講話」の中にも取り入れて実施(11/7)。	3.3	昨年度より0.1減。今後も生徒の状況に応じた講話内容・実施形態・実施時期を検討して実施する。
		26	学校内の施設設備は整備されており、健康で安全な学習環境が整備されている。	【保健部】定期安全点検の実施(月1回)。学期始めと終わりに大掃除を実施。	3.1	昨年度より0.1減。改善・修復箇所を事務部と連携していく。大掃除時に重点箇所を提示し、環境整備をしていく。
		27	生徒の健康管理について、家庭と連携を図り取り組まれている。	【保健部】各学級担任、各部顧問、養護教諭など関係職員で連携をはかる。「ほけんだより」を毎月発行。	3.3	昨年度より0.1減。関係職員と連携を図り、情報共有をしながら家庭との連携を密にする。生徒に寄り添った指導・支援に心がける。
		28	新型コロナウイルス感染症に対して、感染予防の適切な指導が行われている。	【保健部】各教室に関連事項を掲示し、手洗いうがいの励行、常時換気などの実施に努める。また、各教室に非接触型温付き手指自動消毒機を配置。	3.4	昨年度より0.1減。常時必要な行動様式の徹底をはかる。正確な情報を提供し、全職員で指導・助言を実施する。
	C 【個人の教育活動に関する評価】	全般	29	生徒との触れ合いを大切に共感的な理解に努め、生徒との信頼関係を構築している。	【学年部】①定期的に学年会を実施して、情報共有を密に行い、生徒への丁寧な対応に努めた。 ②学年朝礼で輪番による学年職員の講話を実施した。	3.2
30			服務内容を理解し、服務規律を遵守し、社会から信頼される行動をしている。	【教頭】今月の努力目標、各種週間を活用した啓発、新聞記事等による啓発、外部講師によるコンプライアンスの研修を実施(再掲)	3.5	全職員が教育公務員として高い職責感を持ち職務を遂行できるよう、職員間のコミュニケーションをこれまで以上に設ける必要があると考えている
31			校務分掌を適切に処理し、工夫改善を図っている。	【教頭】可能な限り公平・公正となるような配置に努めた。(再掲)	3.2	在校等時間の数値から考えると業務改善は進んでいると考えられるが、今後も更なる業務の効率化、合理化を推進していく。(再掲)
教科指導		32	生徒個々に応じた指導・助言を適切に行っている。	【教務部】生徒個々に応じた指導・助言を適切に行っている	3.3	生徒の実態を踏まえ、職員間で共通理解を図りながら個々の指導に当たった。
		33	予習・復習・課題等の点検を常に行っている。	【教務部】予習・復習・課題等の点検を常に行っている	3.1	特に1年生については、観点別評価の評価項目として日常の学習活動の点検が重要となった。
		34	生徒の主体的な学習法やICT機器を活用した授業への対応など授業法の工夫・改善に取り組んでいる。	【教務部】生徒の主体的な学習法やICT機器を活用した授業への対応など授業法の工夫・改善に取り組んでいる。	3.0	公開授業を契機として、職員間でICT機器を使った授業方法の工夫について情報交換や指導法についての研究が進められた。
生活指導		35	あいさつやマナー、基本的な生活習慣の確立に向けた指導を行っている。	【生徒指導部】始業・終業時の挨拶や職員室等への入退室のマナーについて指導を行い、機会を捉えて啓発を行っている。	3.3	挨拶やマナーの大切さ、基本的な生活習慣の確立の重要性を機会を逃さず伝えていく。
		36	校則や社会のルールを守らせる指導を行っている。	【生徒指導部】校則等の見直しを毎年行っている。生徒総会で生徒の要望も多数出てくる状況なのでルールについて考える良い機会になっている。	3.3	学校生活の様々な場面で呼びかけを行い生徒の規範意識の向上を図りたい。
		37	いじめ防止基本方針に基づき「いじめは絶対に許さない」という姿勢で生徒の指導している。	【生徒指導部】「いじめ問題を考える週間」や「いじめ問題の統一LHR」を計画・実施し、いじめや差別のない学校を目指した取り組みを行なっている。アンケート調査による現状把握やいじめの未然防止に努めている。	3.5	重大事案は起きていない。今後も啓発活動を積極的に行いながら、生徒の小さな変化に気づけるように努める。
保健指導		38	清掃活動や放課後の教室点検等を通じて、生徒の学びにふさわしい環境整備に努めている。	【保健部】日常の清掃活動や放課後の週番活動に加え、学期始めと終わりの大掃除時に重点箇所を定め、環境美化に努めた。	3.3	昨年度より0.1減。「そう思う」「だいたいそう思う」で占めた。今後も生徒とともに環境美化に努めていく。
		39	新型コロナウイルス感染症予防の指導に対し、適切な指導を適時行っている。	【保健部】全職員で一丸となり、状況に応じた指導・助言を行い、感染予防対策に努めた。また、各教室に非接触型温付き手指自動消毒機を配置した。	3.5	昨年度より0.1減。「そう思う」「だいたいそう思う」で占めた。今後の感染状況の推移を把握し、県から発表される情報を確認しつつ、健康観察などを通じ、継続的な感染予防対策に努める。
他	40	各種研修に積極的に取り組んでいる。	【教務部】各種研修に積極的に取り組んでいる	3.2	年間計画に沿って実施できた。	
	41	P T A、地域等の活動に積極的に協力している。	【教務部】P T A、地域等の活動に積極的に協力している	2.9	今年度、PTA総会にてPTA活動はほぼ廃止になり、負担感のないPTA活動が実現できた。	